

第4回関西本線活性化利用促進三重県会議 結果

- 1 日時 令和4年11月15日（火）15：00～15：30
- 2 場所 三重県庁プレゼンテーションルーム
- 3 出席者 三重県一見知事、亀山市櫻井市長、伊賀市岡本市長、
JR西日本水口常務理事近畿統括本部阪奈支社長
- 4 議題 三重県検討会議での検討経過について（報告）
- 5 結果

三重県地域連携部交通政策課長より三重県会議での検討経過について、資料1～4について説明を行いました。（公開）

（1）データ分析について 資料1

- ・関西本線の利用促進を戦略的・効果的に進めるために、それぞれの自治体、JR西日本のデータを持ち寄って、「関西本線の現状についての確認」「手段の検討」「取組の中心とするターゲットの整理」「推進体制と役割分担」等を分析・検討⇒今後の取組の方向性として、「地域住民等に現状の周知や危機感を共有する取組」「通勤等利用者の裾野を広げる取組」「他のエリアから人を呼び込む取組」「利便性向上等の取組の検討・実施」を柱として、事業推進していきたい。
- ・早期に着手可能なものから実施し、その成果を必ず検証したうえで、次の展開に向けてブラッシュアップや見直しを行うPDCAサイクルをかけながら、持続的に利用促進・活性化に向けた取組を行っていく。

（2）令和4～5年度の取組について

「現状の理解促進・危機感の醸成と具体的行動への取組」 資料2

- ・地域住民の方が「現状を知り」、「危機意識を共有し」、「できることから行動する」ための取組として、リーフレットを作成・配布する。
- ・来年4月から新しい職場、学校に通われる方たちに見ていただけるように、今年度中に完成させ、関係機関への配布等、広く活用していきたい。

「通勤における利用促進のための取組」 資料3

- ・利用を下支えしている通勤・通学利用者の裾野を拡大する取組として、県・亀山市・伊賀市・JR西日本が連携し、沿線企業様にご協力を得て、毎日の通勤は難しくても、例えば週1程度、とりあえず実際に利用してもらうところから始めていただけるような仕掛けの実証事業を行う。
- ・その際には、アンケート調査であったり、データを取らせていただき、今後の取組につなげていく。

「他のエリアから人を呼び込む取組」 資料4

- ・JR大阪駅にある複数の会場で開催する「みえ観光物産展」において、県産品の消費拡大や観光流客の促進に加え、関西本線利用促進のためのPRを展開していく。
- ・県では雇用経済部、観光局、農林水産部、地域連携部4部局の連携で、伊賀市、亀山市においても、交通関係以外の観光部門のご協力をいただき、現在、来年の3月中旬開催に向け検討を進めているところ。詳細が決まり次第、ご報告をさせていただきます。